

# 令和05年12月（第4回）岩倉市議会定例会

## 一般質問通告要旨

### 1 水野 忠三 議員

#### 1 本市におけるごみ出し支援について問う

- (1) 本市において、高齢者や障害を有する方のうち、ごみ出しに困っておられる人の現状は。
- (2) 本市における戸別（個別）回収などのごみ出し支援について、現状は。
- (3) 本市で現在行われている支援等について、さらなる周知等が必要と考えるが、見解は。また、特に、福祉系や介護系の民間施設や関係者等への定期的な周知や情報提供などについてはどうか。
- (4) 他の自治体における取組事例（先進事例）等について、認識は。
- (5) 具体例として、群馬県高崎市における「高齢者ごみ出しSOS」（高齢者等ごみ出し支援事業）について、認識及び見解は。
- (6) 本市においても現在の取組等をさらに進めて、「高齢者等戸別（個別）ごみ回収」として制度化すべきと考えるが、見解は。

#### 2 本市の小中学校における不審者対策等について問う

- (1) 小中学校に関連する近年の不審者事案等について、認識は。
- (2) 本市における不審者事案などの発生状況等は。
- (3) 学校内における不審者対策の現状は。
- (4) 通学路など、学校外における不審者対策の現状は。
- (5) 児童・生徒の防犯ブザーなど、防犯グッズ等の携行状況は。また、児童・生徒に対する訓練や指導などの現状は。
- (6) 教職員等が児童・生徒の命を守るために行動する際、「過剰防衛等に問われるかもしれない」と（教職員等に）ちゅうちょさせることは適切でないケースもあると考えるが、見解は。
- (7) 今後の対策及び取組について問う。

#### 3 本市におけるフィッシング詐欺対策等について問う

- (1) 近年のフィッシング詐欺の現状について、認識は。
- (2) 本市における現状及び被害防止に向けての現在までの取組は。
- (3) 国・愛知県や関係機関等との連携などについて、現状は。
- (4) 今後、未成年者や高齢者等に対する注意喚起などもさらに必要と考えるが、見解は。
- (5) 本市の職員等に送られてきた不審なメール等については、犯人検挙に向けて、警察等への積極的な情報提供などを（当該職員等に）勧奨すべきと考えるが、見解は。
- (6) 本市の犯罪防止に向けての決意を問う。

#### 4 国の経済対策に関連する本市の実務等について問う

- (1) 国における最近の定額減税と現金給付に関する議論等について、認識は。
- (2) 一般論として、減税と給付を組み合わせるには、自治体（市町村）レベルにおいて必要とされる実務等が複雑になると思われるが、見解は。
- (3) 現時点における本市の検討状況は。また、予想される課題等は。
- (4) 所得税と住民税の両方を納税しているものの、納税額が比較的多くない所得層で、減税しきれず、恩恵が十分に受けられない可能性がある場合の本市における実務上の処理は。
- (5) 国においても適切な支援等が必要不可欠であることは当然として、それに加えて、自治体（市町村）レベルでも「可能な限り公平を確保できる適切な支援」等を行う必要があると考えるが、見解は。
- (6) 今後の実施に向けて、本市の実務上の検討について問う。

## 2 木村 冬樹 議員

### 1 「ふるさと納税制度」の本質的問題を問う

- (1) ふるさとといわくら応援寄附金事業におけるこれまでの寄附と税の収支状況はどうか。
- (2) 体験型の返礼品の検討状況はどうか。
- (3) 市は「ふるさと納税制度」をどう捉えているか。
- (4) 「ふるさと納税制度」の段階的縮小・廃止を求めるべきではないか。

### 2 岩倉市の消防力のさらなる向上を求めて

- (1) 消防署内の団結は図られているか。
- (2) 浸水被害に備えた排水ポンプシステムの導入を検討できないか。
- (3) 最近の消防団員の確保の状況をどう見ているか。
- (4) 消防団活動の重要性を紹介するPRグッズを作成できないか。

### 3 国民健康保険における負担軽減と給付拡充を求める

- (1) 来年度の国民健康保険税の動向はどうか。
- (2) 保険証廃止で資格証明書はどうなるのか。
- (3) 所得激減による減免の前年所得基準の引上げ、子どもの均等割軽減の拡大など、高すぎる国民健康保険税の負担軽減策は検討できないのか。
- (4) 傷病手当金が無理なら、大口町の「町内事業者休業時支援補助制度」のような商工振興策を実施できないか。

### 4 安心して利用できる介護保険を目指して

- (1) 必要な人に必要な介護サービスを提供できているか。
- (2) 第9期事業計画における保険料設定をどう考えているか。
- (3) 同じく、サービス基盤の整備をどう考えているか。

- (4) 市内サービス事業所の夜勤体制など介護職員の労働実態は把握されているのか。
- (5) 介護職員の処遇改善・人材確保のために自治体として何ができるのか。

### 3 大野 慎治 議員

- 1 ハラスメント防止条例制定に向けて問う
  - (1) 現状について問う。
  - (2) ハラスメント防止条例を制定するべきではないか。
- 2 パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度について問う
  - (1) 現状について問う。
  - (2) 愛知県がファミリーシップ制度を導入することについての見解は。
  - (3) パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を導入するべきではないか。
- 3 岩倉桜まつりの開催について問う
  - (1) 来年は開催するのか。
  - (2) 露天商・屋台の出店についてはどのような計画になっているのか。
  - (3) 山車巡行の開催時期は。
- 4 小中学校体育館の空調設備の方式選定及び課題について問う
  - (1) 小中学校体育館の長寿命化計画及び更新時期は。
  - (2) 空調設備のどのような方式を採用する方針なのか。
- 5 野寄スポーツ広場、野寄テニスコート間の防球ネットについて問う
  - (1) 現状について問う。
  - (2) 防球ネットのかさ上げ等の対策が必要ではないか。
- 6 愛知駅伝の代表選手の紹介・応援の在り方について問う
  - (1) 代表選手紹介のポスターの作成やホームページ等で代表選手を紹介して応援してはどうか。

### 4 鬼頭 博和 議員

- 1 不登校の児童生徒への支援について
  - (1) 児童生徒への不登校に対する未然防止対策はどのようなか。
  - (2) 不登校（長期欠席）の児童生徒の増加に対して、本市はどのような対策をとっているのか。
  - (3) 不登校の児童生徒に対する各小中学校の対応はどのようなか。
  - (4) 不登校の児童生徒とスクールカウンセラーとの相談体制はどのようなか。

- (5) スクールソーシャルワーカーは、不登校の児童生徒にどのような対応を行っているのか。
- (6) 校内フリースクールについて、どのような研究、検討がなされたのか。
- (7) 子どもの多様性に対応した校内フリースクールの開設を求む。

## 2 ヤングケアラーへの対応について

- (1) 現在ヤングケアラーについて、どのような取組が行われているのか。
- (2) 愛知県が作成したヤングケアラー啓発パンフレット（子ども向け）は、どのように活用する予定なのか。
- (3) ヤングケアラーの周知、認知度向上のための取組を行い、早期発見し対応に努めるべきではないか。

## 5 日比野 走 議員

### 1 野田市の「こども未来教室」になぞらえて

- (1) 「トワイライト教室」を小学生にも拡大できないか。
- (2) テスト期間時、対策問題として「トワイライト教室」内で問題を作成できないか。
- (3) 将来の人手不足問題を見越して、「トワイライト教室」や「放課後子ども教室」等の事業を一部外部委託することはできないのか。

### 2 レンタサイクル事業について

- (1) 利用者数はどれくらいか。
- (2) 一番多い利用先は把握しているか。
- (3) 市内の企業でのレンタサイクル事業が撤退しているが、当局の事業の今後の展望はどうか。

### 3 世界情勢を鑑みた平和教育について

- (1) 現時点で児童生徒がこのウクライナ侵攻をどのような媒体で知り、どのような考えをもっているか問う。
- (2) 将来、生徒たちが多様な平和への考え方を尊重して学習できる展望はあるのか問う。
- (3) これからの平和教育について教育長に問う。

## 6 片岡 健一郎 議員

### 1 岩倉市休日急病診療所について

- (1) 岩倉市が休日急病診療所を設置した経緯及び目的は。
- (2) 休日急病診療所の利用者数はどのようなか。
- (3) 現状の休日急病診療所における受入れにおいて人数制限はどのようなか。

- (4) インフルエンザ流行時等は定員オーバーで岩倉市の休日急病診療所を利用できない市民がいる現状があるが、当局としての見解はどうか。
- (5) 車を持たない市民にとって近隣自治体の医療機関への受診は困難である。また、車を持つ市民でも市内での受診を望む声がある。インフルエンザ等流行時だけでも医師の2人体制や診療時間の見直しなどで岩倉市の休日急病診療所に対応できる患者数を増やすことはできないか。

## 2 「子育て世帯が住みたいまち」のさらなる充実に向けて

- (1) 朝の延長保育及び放課後児童クラブの土曜日または学校休業日の受入れ開始時間は朝の7時半としているが、受入れをこの時間からとした経緯はどのようなか。
- (2) 子どもの登校時間より早く出勤する必要がある共働き家庭において低学年の児童だけで登校時間までを家で過ごさなければいけない現状に対し当局の見解を問う。
- (3) 核家族化、共働きにより行政による子育て支援がさらに求められている。放課後児童クラブの朝の受入れを実施することで子育て支援のさらなる充実ができないか。
- (4) 各小学校に放課後児童クラブの設置が完了した後の各地区の児童館の役割を当局はどのように考えているのか。
- (5) 昼間の児童館の有効活用の一つに子育て支援センター機能を各地区に設けてはどうかと考えるが当局の見解はどうか。

## 3 岩倉市都市計画マスタープランの進捗状況と今後の岩倉市の計画について

- (1) 川井野寄地区の企業誘致による雇用の創出とそれに伴う人口の増加について当局の想定はどうか。
- (2) 産業系拡大検討ゾーンの2か所（八劔町及び川井町・野寄町）について岩倉市としてどのようなアクションを行っているのか。
- (3) 雇用の創出による定住人口の受皿として計画されている住居系拡大検討ゾーンをより具体的に推進していくべきと考える。岩倉市は住居系拡大検討ゾーンの推進をどのように考えているのか。
- (4) 国による今年度のスマートインターチェンジの事業化は不採択となった。その結果をどのように捉えているのか。また来年度の事業採択に向けて今後の動きは。

## 7 須藤 智子 議員

### 1 国が行う子育て支援「こども誰でも通園制度（仮称）」について問う

- (1) 岩倉市の待機児童の現状はどのようなか。
- (2) この「こども誰でも通園制度（仮称）」についての見解はどのようなか。
- (3) この制度を岩倉市が行うことになった場合のメリット・デメリットはどのようなか。

### 2 岩倉市の商業の活性化のために

- (1) 岩倉市内の商業の状況はどのようなか。
- (2) コロナ禍で打撃を受けた商店の再生のため、商売のやる気を出させるために、補助金を考えるべきではないか。

(3) 高崎市の「まちなか商店リニューアル助成事業補助金」制度を検討してはどうか。

3 「子どもは未来のまちづくり人」大切な岩倉の子どもたちを守るための不登校対策について問う

- (1) 岩倉市の小中学校の不登校の現状はどのようなか。
- (2) 適応指導教室「おおくす」の状況はどのようなか。
- (3) 不登校対策として「校内フリースクール」を設置する考えはないのか。
- (4) 不登校児の親に対して支援を。
- (5) 教育長の「不登校対策」への所見を問う。

## 8 榎谷 規子 議員

1 八剱区の開発で環境はどうなるのか

- (1) 市の都市計画マスタープランに示された産業系拡大検討ゾーンにおける開発の動きをどれだけ把握しているのか。
- (2) 広い水田が埋め立てられるが、市の環境基本計画に逆行しないのか。
- (3) 水田は、大雨・豪雨時の貯水力が大きいですが、浸水対策は大丈夫か。
- (4) 南の地域の水田への用水・排水はどうなるのか。
- (5) 一宮春日井線の東への延伸の進捗はどうか。

2 市民の交通権の保障を

- (1) タクシー料金の時間指定予約の300円の上乗せによるふれ愛タクシーへの影響をどう見ているか。
- (2) すこやかタクシーへの影響はどうか。
- (3) コミュニティバス・市内巡回バスの検討が必要なのではないか。

3 全ての子どもたちが健やかに成長・発達していくために（座間市への視察より）

- (1) あらゆる相談等に対応するための専門職員の配置はどうなっているか。
- (2) 相談・申請・手続などをワンストップサービスで行えるための工夫を。

## 9 梅村 均 議員

1 一般廃棄物処理計画（ごみ処理計画）は順調に実施されているか

- (1) ゼロカーボンシティの表明があり、これまで以上にごみの減量化・資源化に向けた取組が必要であると思うが、ごみ処理計画の基本理念や基本方針の内容は。
- (2) 収集ごみの減量目標と資源化目標に対して現状は。
- (3) 剪定枝は資源化計画が掲げられているが、調査・研究は進んでいるか。
- (4) 別回収など他市町の回収方法を参考にして、資源化できないか。
- (5) 集積場所の適正な管理の計画と内容は。

- (6) 剪定枝の出し方にルール違反が見られるようであるが認識は。
  - (7) 剪定枝の出し方ルール違反解消に向けての対策を。
  - (8) 環境審議会や廃棄物減量等推進協議会の開催回数が少ないのでは。
  - (9) 生活排水の処理について、単独処理浄化槽が増えているがなぜか。
- 2 市民体育祭におけるリレー種目のルール再検討を
    - (1) スポーツ施策における総合計画とその内容は。
    - (2) 市民体育祭の開催目的は。
    - (3) 少年区や区対抗リレーへの参加数の傾向は。
    - (4) 少年区や区対抗リレーに対する行政区の意見は。
    - (5) リレー種目に対するルールを変更すべきでは。
  - 3 児童遊園に時計の設置を
  - 4 山車400年に向け岩倉街道や岩倉駅東地区の電線地中化はできないか
  - 5 「ちっちゃい菜の漬物」を新ブランド野菜として確立するための今後の計画は

## 10 谷平 敬子 議員

- 1 子宮頸がんワクチン接種について
  - (1) 現在の接種状況はどのようなか。
  - (2) キャッチアップ対象者の接種率はどのようなか。
  - (3) 子宮頸がん検診率向上への取組はどのようなか。
  - (4) 男性への接種の必要性をどのように考えるか。
  - (5) 男性への接種費用の補助を求む。
- 2 軟骨伝導イヤホンの窓口設置について
  - (1) 窓口での耳の聞こえにくい人への対応はどのようなか。
  - (2) 軟骨伝導イヤホンの窓口設置を求む。

## 11 塚崎 海緒 議員

- 1 消防隊員をオゾン消毒した問題について問う
  - (1) 岩倉市職員ハラスメント防止指針について再度問う。
  - (2) 朝日新聞記事の調査結果と対策について。
  - (3) 独自アンケート調査から質問する。
  - (4) 第三者機関による調査を実施し早急に組織改革を。

- 2 パレードを災害対策視点で振り返る
  - (1) トイレ・オムツ替えスペース・授乳室の確保について。
  - (2) スタッフへの研修や情報共有について。
  - (3) 市民福祉として岩倉市・岩倉市民への効果はどうか。
  - (4) 職員は休むことができたか。
  - (5) 職員への負担があったのではないか。

## 12 堀江 珠恵 議員

- 1 GIGAスクール構想から岩倉市の教育現場の現状を問う
  - (1) 一人一台の端末が配布されているが、一斉学習・個別学習・協働学習はどの程度定着をしているのか。
  - (2) 教員のICT活用はどの程度進んでいるのか。
  - (3) 教員の業務負担軽減のために民間に委託できる業務は委託できないか。
- 2 LGBT理解増進法に係る市の対応について
  - (1) 運用に当たって本市の見解は。
  - (2) 学校・教育の対応について問う。